

仕様・定格総荷重表

標準仕様(ムーンサルトジブ付)

ROUGH TERRAIN CRANE

WING250

[型式名:LW250-5]

仕様

作業性能		
最大定格総荷重 (アウトリガ最大張出/全周)	7.6mブーム	26,000kg×3.0m (8本掛)
	13.7mブーム	21,000kg×3.5m (8本掛)
	19.8mブーム	14,500kg×4.5m (6本掛)
	25.9mブーム	10,600kg×5.5m (4本掛)
	30.5mブーム	7,000kg×8.0m (4本掛)
	32.0mブーム	5,900kg×8.0m (4本掛)
	30.5+7.4mジブ(チルト5°)	3,000kg×70.0° (1本掛)
	30.5+12.6mジブ(チルト5°)	2,000kg×75.0° (1本掛)
	32.0+7.4mジブ(チルト5°)	2,600kg×72.0° (1本掛)
	32.0+12.6mジブ(チルト5°)	1,700kg×75.0° (1本掛)
シングルトップ	3,500kg (1本掛)	
ブーム長さ	7.6m~32.0m	
ジブ長さ	7.4m/12.6m	
作業半径	最大地上揚程	主フック 33.4m 補フック 46.2m
	最大作業半径	主フック 29.0m 補フック 35.0m
作業速度 時間	巻上	主巻 高速130m/min 低速65m/min (4層目)
	ロープ速度	補巻 高速130m/min 低速65m/min (4層目)
	ブーム上げ時間	44sec (0°~83°)
	ブーム伸長時間	75sec (7.6m~32.0m)
アウトリガ 張出幅	左右(最大)	2.5rpm
	左右(中間)	6.6m
	左右(最小)	5.9m・5.2m・4.5m・3.8m 2.21m (H型のみ)
後端旋回半径	2.95m (ベースブーム後端よりセカンドブームが突出しない状態)	

クレーン部主要装置・構造		
主ブーム 装置	形式	箱形5段
	伸縮装置	油圧シリンダ・ワイヤロープ併用式
	方式	2段目順次 3・4・5段目同期伸縮式
ジブ装置	起伏方式	油圧シリンダ前押し式
	形式	箱型2段(チルト角5°~60°)
巻上装置	形式	油圧2モータ駆動 2ドラム フリーフォール付
ワイヤロープ	主巻用	7×7+6×Fi(29)B種普通Zより難燃性 φ16mm×176m
	補巻用	7×7+6×Fi(29)B種普通Zより難燃性 φ16mm×98m
旋回装置	駆動方式	油圧モータ駆動偏心差動歯車式
	ブレーキ形式	油圧作動・湿式多板ディスクブレーキ
アウトリガ	旋回ロック	ピン式
	形式	全油圧式 X型またはH型
油圧装置	油圧ポンプ	歯車式
	作動油タンク容量	520ℓ

走行性能		
変速段数	前進3段-後進1段(Hi-Lo付)	
最高速度	49km/h	
登坂能力	0.6 (tan θ)	
最 小 回転半径	4輪操向	5.4m
	2輪操向	9.3m

キャリア部主要装置・構造			
エンジン	名称	コマツS6D125E-2	
	形式	直噴6気筒ターボ付	
	総行程容積(総排気量)	11.04ℓ [11,040cc]	
	定格出力	184kW [250PS] / 2,100rpm	
	最大トルク	1,030N・m [105kg・m] / 1,400rpm	
パワーライン	トルクコンバータ形式	3要素1段2相形(自動ロックアップ付)	
操 向	形式	全油圧パワーステアリング	
	後輪ロック方式	後輪空圧式(運転室操作)	
車 軸 車 輪	駆動方式	2輪駆動・4輪駆動 切換式	
	車軸形式	前車軸	全浮動軸管式
		後車軸	全浮動軸管式
	懸架形式	縦置半だ円板バネ式(油圧ロックシリンダ付)	
タイヤ	前 輪	385/95R25	
	後 輪	385/95R25	
ブレーキ 装 置	主ブレーキ	前 輪	エアオーバハイドロリック4輪ディスク式
	形式	後 輪	エアオーバハイドロリック4輪ディスク式
	駐車ブレーキ形式	スプリング加圧内部拡張ドラム式(前輪推進軸制動)	
	補助ブレーキ形式	駐車ブレーキ+主ブレーキ	
排気ブレーキ形式	トルコンロックアップ連動排気ブレーキ		
燃料タンク容量	300ℓ		

寸法・質量		
全長(シングルトップ張出/格納)	9,940/9,520mm	
全幅	2,620mm	
全高	3,520mm	
軸距	3,750mm	
輪 距	前輪	2,190mm
	後輪	2,190mm
アウトリガ形式	X型/H型	
車両総質量	26,980kg	
配 分 質 量	前軸	13,490kg
	後軸	13,490kg

単位は、国際単位系によるSI単位表示。〔 〕内は、従来の単位表示を併記したものです。

主な安全装置	
モーメントリミッタ	過巻防止装置
緊急ステアリング装置	空気圧低下警報装置
ドラムロック装置	ウインチアキュムレータ圧低下警報装置
玉掛ワイヤ外れ止め装置	旋回ロック装置
旋回ブレーキ	油圧安全弁・逆止弁
後輪ステアリングロック	前席シートベルト
オーバラン警報装置	オーバシフト防止装置
旋回フラッシュ	旋回ブザー
ブレーキ油量低下警報装置	ブレーキストローク警報装置
作業機レバースタンド連動PPC圧アンロード装置	作業範囲制限警報装置
旋回危険予知モニター	アウトリガ張出幅検出装置
フリーフォールインタロック装置	ウインチドラム回転表示装置
ドラムローラ	

■アウトリガ不使用時

(単位:ton)

【注意事項】

●アウトリガ使用時の注意

- 定格総荷重は、水平堅土上においてアウトリガで車体を水平に設置した時の値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。
- 定格総荷重は、つり具等の重量とフック重量(主巻フック:240kg 補巻フック:60kg)を含んだ値を示します。
- 定格総荷重はブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
- ブームの長さが規定の長さをこえる場合は、規定の長さか1段上のブーム長さのいずれか小さい方の定格総荷重で、作業を行ってください。
- シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重より200kgを差し引いた値と等しく、かつ上限は3.5tonとします。
- 補助ジブ作業においては、ブームの長さが30.5m以下の場合は30.5mブームの定格総荷重で、30.5mをこえる場合は32.0mブームの定格総荷重で、ブームの角度だけを基準として行ってください。なお、作業半径は参考値を示します。
- 各ブームの長さに対するフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表の通りです。なおワイヤロープ1本当たりの荷重は3.25ton以下、補巻3.5ton以下です。

ブーム長さ (m)	7.6以上 13.7以下	13.7超 19.8以下	19.8超 32.0以下	補助ジブ シングルトップ
巻掛本数 (本)	8	6	4	1

- 自由降下作業は、原則としてフックのみを降下させる時に使用してください。やむをえずつり荷を自由降下させる場合は、定格総荷重の1/5を限度とし、急激なブレーキ操作は絶対に避けてください。
- 補助ジブを装着したままでブーム作業を行う場合の定格総荷重はブームの定格総荷重より1500kg差し引いた値です。
- ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので十分に注意してください。
- 前方・後方域でのつり上げ性能は『アウトリガ最大張り出し』の定格総荷重表で作業行ってください。
- 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は、転倒または破損します。この場合本機の保証は致しません。

●アウトリガ不使用時の注意

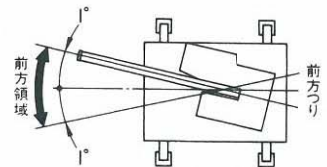
- 定格総荷重は、水平堅土上においてタイヤの空気圧が規定圧で、かつサスペンションシリンダを最縮小にした場合の値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。実際の作業では、地盤、作業状態等を十分考慮の上使用ください。

タイヤ規定空気圧	9.0kg/cm ²
----------	-----------------------

- 定格総荷重は、つり具等の重量とフック重量(主巻フック:240kg 補巻フック:60kg)を含んだ値を示します。
- 定格総荷重は、ブーム及びタイヤのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
- ブームの長さが規定の長さをこえる場合は、規定の長さか1段上のブーム長さのいずれか小さい方の定格総荷重で、作業を行ってください。
- シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重より200kgを差し引いた値と等しく、かつ上限は3.5tonとします。
- ブームの長さ25.9mをこえるブーム作業、補助ジブ作業、自由降下作業は行わないでください。
- 各ブーム長さに対するフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表の通りです。なおワイヤロープ1本当たりの荷重は主巻3.25ton以下、補巻3.5ton以下です。

ブーム長さ (m)	7.6以上 13.7以下	13.7超 19.8以下	19.8超 32.0以下	シングルトップ
巻掛本数 (本)	8	6	4	1

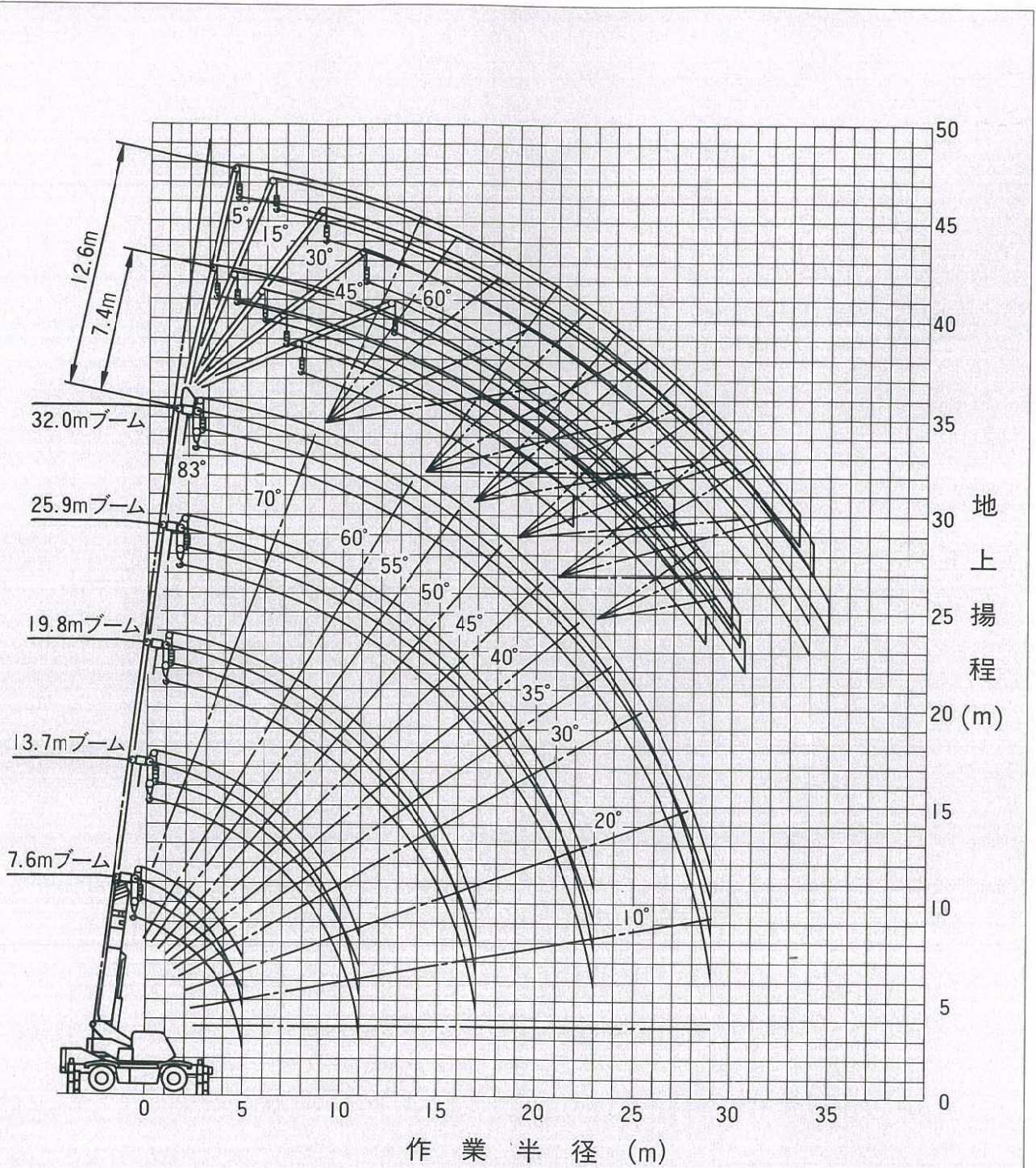
- 前方作業と全周作業では定格総荷重が異なります。前方領域から側方領域へ旋回する場合には、過荷重になる恐れがありますので十分に注意してください。前方のクレーン作業は、ブームが車体中心から左右1°ずつの範囲内で行ってください。
- 静止してのクレーン作業は、パーキングブレーキを効かせた状態で行ってください。
- 吊荷走行は走行モードスイッチを「4WD/Lo」モードにセットして行ってください。吊荷走行を行う場合は、旋回ブレーキをかけ、荷が振れないように地面近くに保持し、1.6km/h以下にて行ってください。特に急ハンドル、急発進、急ブレーキ、走行中のクレーン操作は避けてください。
- ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので十分に注意してください。
- 定格総荷重を超える作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は、転倒または破損します。この場合本機の保障は致しません。



定置吊り									
ブーム長 (m)	前方				ブーム長 (m)	全周			
	7.6	13.7	19.8	25.9		7.6	13.7	19.8	25.9
3.0	14.00	11.00	7.80		3.0	9.00	8.00	6.00	
3.5	12.00	10.20	7.80	5.70	3.5	7.40	6.80	6.00	3.50
4.0	10.75	9.70	7.80	5.70	4.0	6.10	5.40	5.85	3.50
4.5	9.65	9.30	7.80	5.70	4.5	5.05	4.40	4.75	3.50
5.0	8.70	8.20	7.40	5.70	5.0	4.00	3.60	4.10	3.50
5.5		6.90	6.80	5.70	5.5		3.00	3.50	3.50
6.0		5.90	6.20	5.70	6.0		2.50	3.00	3.20
6.5		5.10	5.60	5.30	6.5		2.10	2.55	2.75
7.0		4.40	5.00	4.95	7.0		1.75	2.15	2.40
8.0		3.40	4.00	4.15	8.0		1.00	1.60	1.80
9.0		2.55	3.20	3.40	9.0			1.15	1.40
10.0		2.00	2.60	2.85	10.0			0.75	1.05
11.0		1.50	2.15	2.35	11.0				0.75
12.0			1.80	2.00	12.0				
13.0			1.40	1.70	13.0				
14.0			1.05	1.45	14.0				
15.0			0.75	1.15	15.0				
16.0			0.50	0.90	16.0				
17.0				0.65	17.0				
18.0				0.45	18.0				
危険角度	-	-	20°	39°	危険角度	-	36°	52°	60°

走行吊り (1.6km/h以下)									
ブーム長 (m)	前方				ブーム長 (m)	全周			
	7.6	13.7	19.8	25.9		7.6	13.7	19.8	25.9
3.0	10.00	8.70	6.60		3.0	6.80	5.80	4.20	
3.5	9.00	8.20	6.60	5.00	3.5	5.55	5.00	4.20	2.55
4.0	8.00	7.50	6.60	5.00	4.0	4.65	4.20	4.20	2.55
4.5	7.10	6.80	6.60	5.00	4.5	3.95	3.50	3.95	2.55
5.0	6.40	6.15	6.30	5.00	5.0	3.35	3.00	3.30	2.55
5.5		5.50	5.70	5.00	5.5		2.50	2.90	2.55
6.0		4.80	5.15	4.80	6.0		2.10	2.50	2.55
6.5		4.10	4.65	4.50	6.5		1.75	2.10	2.30
7.0		3.60	4.10	4.25	7.0		1.45	1.80	2.00
8.0		2.75	3.30	3.45	8.0		0.80	1.30	1.50
9.0		2.15	2.60	2.85	9.0			0.90	1.10
10.0		1.70	2.15	2.35	10.0			0.50	0.80
11.0		1.30	1.80	2.00	11.0				0.60
12.0			1.50	1.70	12.0				
13.0			1.25	1.45	13.0				
14.0			0.95	1.20	14.0				
15.0			0.65	1.00	15.0				
16.0				0.75	16.0				
17.0				0.55	17.0				
危険角度	-	-	28°	41°	危険角度	-	42°	53°	61°

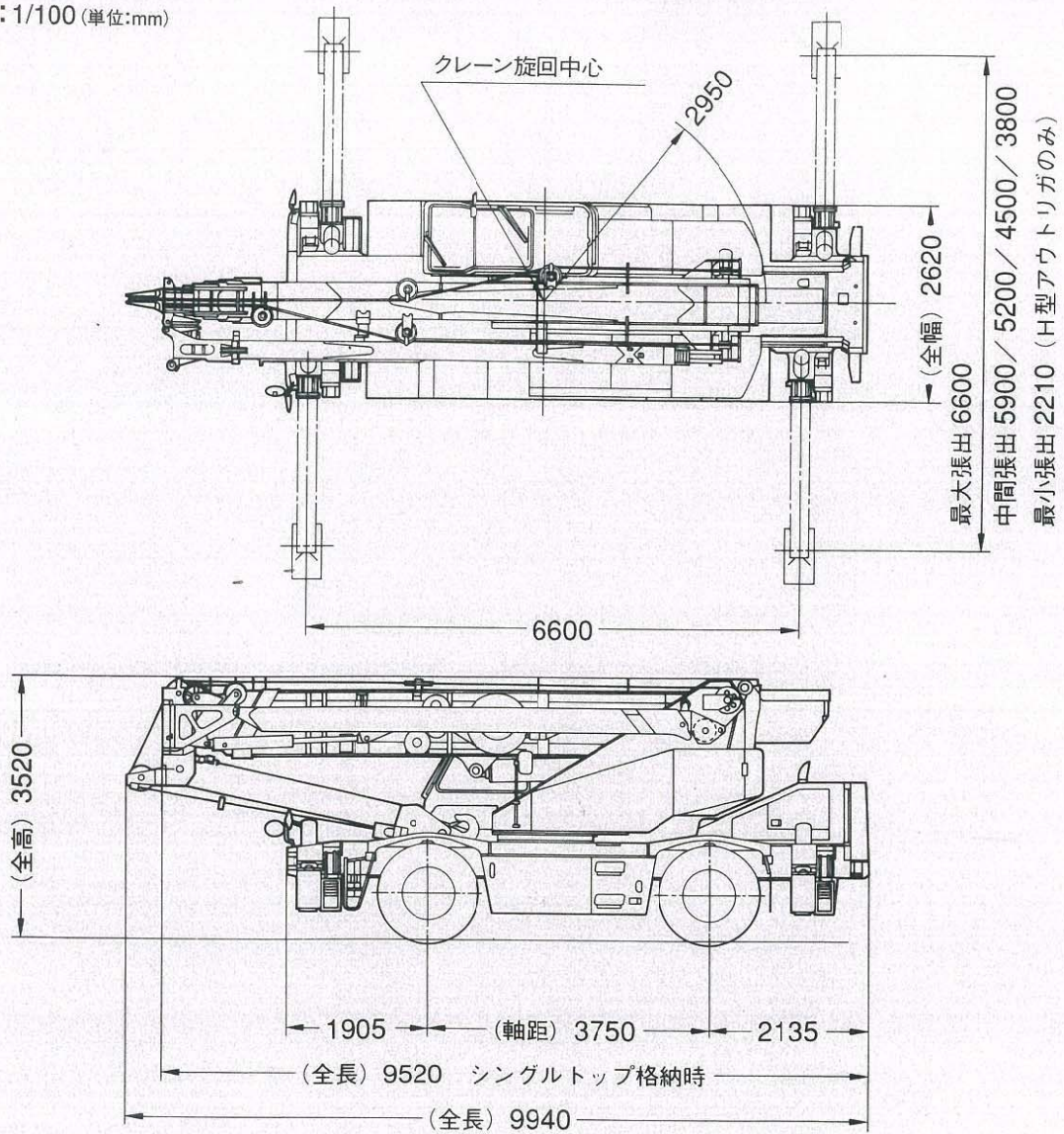
■作業半径揚程図



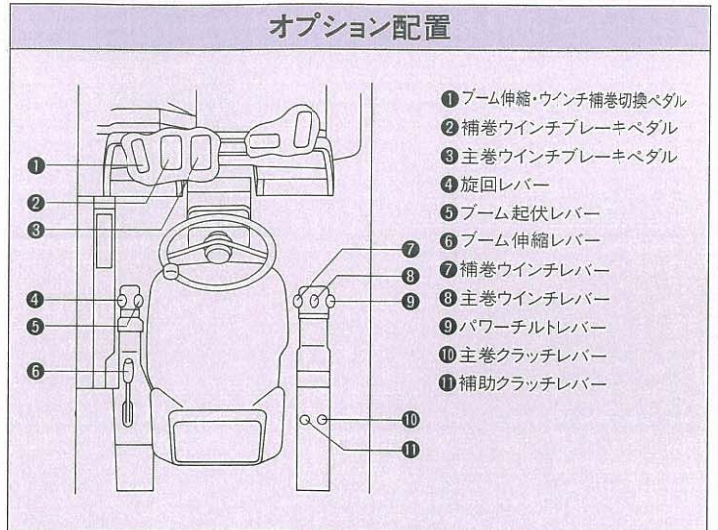
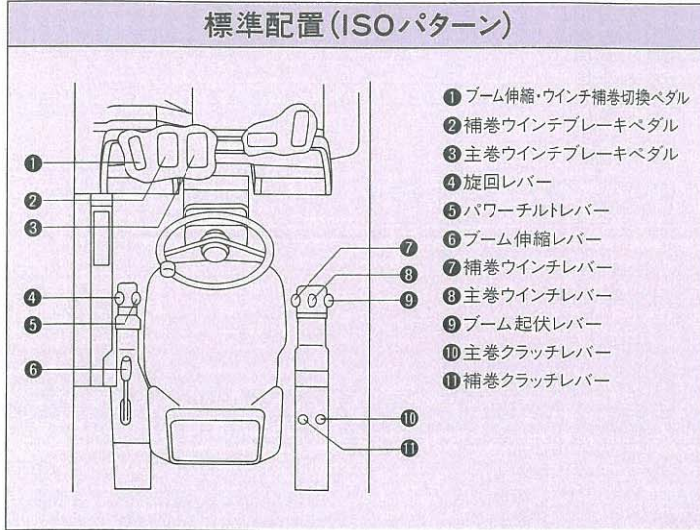
上図はアウトリガ最大張出時の作業半径と地上揚程の関係を示しブームのたわみを含んでいません。

■外形図

縮尺: 1/100 (単位:mm)

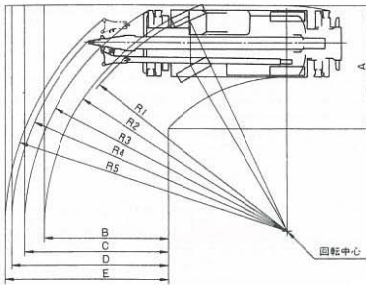


■ クレーン操作・レバー、ペダル類配置



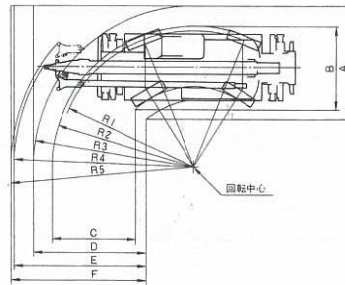
■ 最小直角通路幅

● 前輪(2輪)ステアリング



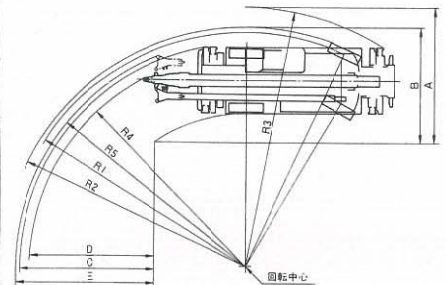
- R1 = 9.3m(最小回転半径)
- R2 = 9.5m(最外輪端回転半径)
- R3 = 10.2m(車体回転半径)
- R4 = 10.7m(ブーム先端回転半径、左旋回)
- R5 = 11.0m(ブーム先端回転半径、右旋回)
- A = 4.8m(車体入口通路幅)
- B = 4.8m(車輪出口通路幅)
- C = 5.6m(車体出口通路幅)
- D = 6.2m(ブーム先端出口通路幅、左旋回)
- E = 6.4m(ブーム先端出口通路幅、右旋回)

● 前後輪(4輪)ステアリング



- R1 = 5.4m(最小回転半径)
- R2 = 5.6m(最外輪端回転半径)
- R3 = 6.4m(車体回転半径)
- R4 = 7.1m(ブーム先端回転半径、左旋回)
- R5 = 7.2m(ブーム先端回転半径、右旋回)
- A = 4.5m(車体入口通路幅)
- B = 3.3m(車輪入口通路幅)
- C = 3.3m(車輪出口通路幅)
- D = 4.5m(車体出口通路幅)
- E = 5.3m(ブーム先端出口通路幅、左旋回)
- F = 5.4m(ブーム先端出口通路幅、右旋回)

● 後輪(2輪)ステアリング



- R1 = 9.3m(最小回転半径)
- R2 = 9.5m(最外輪端回転半径)
- R3 = 10.3m(車体回転半径)
- R4 = 8.5m(ブーム先端回転半径、左旋回)
- R5 = 9.0m(ブーム先端回転半径、右旋回)
- A = 5.3m(車体入口通路幅)
- B = 4.5m(車輪入口通路幅)
- C = 5.3m(車体出口通路幅)
- D = 4.9m(ブーム先端出口通路幅、左旋回)
- E = 5.5m(ブーム先端出口通路幅、右旋回)

● WING250は、基本通行条件のC条件適合車です。

● 道路の通行には、道路法による許可と、道路運送車両法による保安基準の緩和が必要です。

● 本機械は、クレーン作業時、移動式クレーン運転二免許資格が必要です。また公道を走行する時は大型特殊免許が必要です。

● 本仕様は改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

● お問い合わせは

KOMATSU

コマツ

建機事業本部

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 TEL. 03-5561-2733

北海道 TEL. 011-210-6220 中部・北陸 TEL. 052-566-2631

東北 TEL. 022-231-7111 大阪・四国 TEL. 06-6864-2121

関東 TEL. 048-647-7211 中国・九州 TEL. 092-641-3114

東京 TEL. 044-287-7713

■オペレータの養成・資格修得(大型特殊・車両系建機技能講習等)のご相談はコマツの教育センターへ。

コマツ教育所

北海道センター TEL. 011-377-3866 愛知センター TEL. 0568-24-3580

埼玉センター TEL. 0429-53-4430 大阪センター TEL. 0720-49-2063

東京センター TEL. 042-532-7555 和歌山センター TEL. 0734-77-6562

神奈川センター TEL. 044-287-2071 奈良センター TEL. 0743-68-3333

栗津センター TEL. 0761-44-3930 九州センター TEL. 092-935-4131

コマツクレーン教育センター TEL. 0285-83-5461